

父母様は神様の体

人類を罪悪から救うために真の父母の資格でこの地に顕現した私です。神様は無形でいらっしゃるの、死んで霊界に行っても見ることが出来ない方です。したがって、肉身をもって生きる人間と関係を結んで生きるためには神様も体をもった父として、この地に顕現されなければなりません。このような天理ゆえに、神様は人類始祖であるアダムとエバを創造されました。どのようにすれば無形でいらっしゃる神様の体になることができるのでしょうか。それで神様は、アダムとエバが完成に至れば彼らの中に内在して完全に一体をなすことによってアダムであると同時に神様であり、神様であると同時にアダムであるという永遠の関係を結ぼうとしたのです。

もし、アダムとエバが墮落せずに神様の戒めを守って個人完成し、神様の祝福のもとで結婚式を挙げることできていけば、彼らの子女たちはもちろん、子々孫々永遠に神様の属性を相続して生きる神様の体になっていたでしょう。結局、人間の墮落は、神様に最も大きな打撃を与える結果を招いてしまいました。

縦的には父母と子女の関係であり、横的には神様御自身であると同時に子女である人間を神様は丸ごと失ってしまったのです。アダムとエバが神様の体を備えれば、神様は、彼らの心の中にお住まいになりながら有形世界である地上世界と無形世界である霊界を統治するようになっていたのです。それは、神様の統治であると同時に、アダムとエバの統治でもあります。それと共にこの地に神様の王国すなわち平和王国を作り上げたでしょう。神様の属性をそのまま受け継ぎ、アダムはすべての被造物の上に、絶対的存在であり、唯一の存在であり永遠で不変な真の愛の実体の父母、実体の王、実体の主人、実体の師になっていたのです。今日の人類は、神様の体をもって生きる分身体となっていたでしょう。墮落は、人間を無知の世界へ追い込んでしまいました。父母を失った天涯の孤児にしたのです。しかし、人間より大きな苦痛と悲哀の中に落ちた方が神様です。御自身の創造理想を強奪され、愛する息子、娘を強奪され、真の愛の理想の園として創造しておいた地球星まで怨讐サタンの籠絡の場として渡してしまったのですからどれほど悔しさで胸が痛み、寂しい恨の心情だったのでしょうか。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします  
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

2. 2015年ユニバーサルパレエ日本公演

日時:9月27日(日)午後6時から

場所:文京シビックホール(1800席)にて

◎東京メトロ丸の内線・南北線 後楽園駅>【直結】

◎都営地下鉄三田線・大江戸線 春日駅>【直結】

◎JR中央・総武線水道橋駅>【徒歩約10分】

演目「ドン・キホーテ」

3. ファミリー・パレード開催

開催日:2015年9月27日 PM3:00~

場 所:大宮駅前付近

動員数:200名(東埼玉100名・西埼玉100名)

4. 世界平和統一家庭連合出帆記念大会

日時10月12日(月)体育の日 開場13:00 式典14:00~16:30

会場 幕張イベントホール(7000名)

目的・FFWPUとしての出帆記念大会とする

・FFWPUとしてのビジョンと今後の取り組みを全食口及び日本国民に示す契機とする。

・真のお母様の侍墓精誠を相続し、全食口が新しい出発に同参する。

・FFWPUの新しい希望のイメージを提示する。

参加者:中学生以上の食口

感謝献金:大人2000円 中高生1000円



【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する  
天一国の真の主人になろう!



宗教法人 世界平和統一家庭連合  
FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION

浦和家庭教会

(旧 世界基督教統一神霊協会)

教区長:鄭日權 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12  
Tel: 048-886-8774/Fax: 048-886-8797  
E-mail: uc.urawa@gmail.com

## 日曜礼拝式次第



執礼者：五十嵐政彦地区長

司会者：田川 敏

開	会		
黙	禱	.....	全 体
※聖	歌	..... 聖歌 16 番 .....	全 体
※敬	拝	.....	全 体
※家 庭 盟 誓		..... (韓国語) .....	全 体
※年 頭 標 語		.....	全 体
代 表 祈 禱		.....	福田和也
聖 歌		.....	聖歌隊
説 教		<b>五十嵐政彦地区長</b>	
聖歌と献金		..... 聖歌 20 番 .....	全 体
※祝 禱		.....	執礼者
※全 体 祈 禱		.....	全 体
おしらせ		.....	司会者
閉 会		.....	司会者

※起立して進行します

『生めよ、殖えよ、地に満ちよ、萬のものを治めよ』

## 今週のみ言

「万王の王、再臨メシヤ、救世主として来られた真の父母様ですが、準備されたキリスト教の基盤が責任を果たすことができず、“僕の僕”の位置から出発するしかありませんでした。そのような中でも真の父母様は天を慰勞し、神様の夢であり願いであるみ旨を必ず成して差し上げようと決意されました」、「(お父様は)人類の未来と地球の未来を心配され多くの準備をされました」「今日、韓国の経済がアジアの灯火ではありません。灯火は火のことを言います。火は真理であり、真理はみ言です。真の父母様の教えでこの大韓民国がアジアと世界の前に立つことができるということです」「今日集まった皆さんは、お父様に何をお伝えしたいですか？私はこのようにお伝えしたいです」『お父様！もうこれからは心配なさらなくてください。私たちは必ず責任を完遂いたします。ですから、お父様は永遠なる本郷苑において、これまで孤独であった神様、天の父母様を慰勞され、頌榮の対象として自由の身となられることを切に願います』

これこそ私たちが世界の前に見せ、責任を持つべき心情文化の価値であり、旗であり花であることを肝に銘じ、皆さんも私と同じ覚悟で最善を尽くしてくださることを願います」

**「真のお父様、聖和3周年記念行事での真のお母様のみ言」**

## 統一運動

### 文鮮明評伝——人類を愛した平和の聖者

本紹介:

「文鮮明評伝」は牧師、総裁、教主、先生、メシア、真のお父様など、その呼称を離れた人間としての文鮮明を照明した本である。文鮮明は宗教人として出発したが企業、著述家、ジャーナリスト、思想家としての役割を限りなく広がっていった。この本には、その過程が客観的でありながら、詳細に盛り込まれている。著者は、彼が「邪悪なエセ宗教の教主」なのか、「平和を愛した世界人」なのかの判断を静かに読者の判断に残した。客観的説明のほか教義は最大限排除したが、必ず必要な部分では、教義を引用したことを明らかにしている。

著作者:ギムホギョン

第21回「今日の作家賞」受賞作家。1962年真冬、全北益山で生まれた。高校2年生の時金承鉦の小説を読んで衝撃を受けて、将来小説家になると決心しましたが、「男はすべてからく技術者になければならない」は、父の命に基づいて何も考えず土木工学科に入った。4年にわたって無駄な歳月を「土質力学」のような本ではなく、手先の長編小説だけ読んで「テーマを把握できない奴」という声を聞いた。以降慶熙大新聞放送大学院を卒業した。

1986年4年生の時、大学新聞懸賞小説を出品して当選したが、正式に文壇にデビューしたのは、10年が過ぎた1997年だった。「見知らぬ天国」という小説で第21回「今日の作家賞」に当選され、夢に描いた小説家となったが、いくつかの便宜小説を出した後、「小説はすべて嘘であり、詐欺」という考えが含まれて文を書くことをやめた。しかし、死ぬ前に名作一つは残す計画である。雨が降る秋の夜一人濃いコーヒーを飲んで、タバコの煙舞い流れヒットソングを聴きながら本を読むときが一番幸せだ。

著書には長編「見知らぬ天国」、「靴はすべての道を覚えている」、「マウス」、映像小説「刑事」などがある。

### 2015年 VISION

幸せな家庭 健康な教会  
国家と世界に貢献する統一運動

### 2015年 活動指針

1. 訓読の伝統確立
2. 青年・学生伝道強化
3. 神氏族メシヤ責任完遂
4. 真の家庭国民運動展開